

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 情報に関する法規や制度の意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	科目オリエンテーション 情報技術による社会や生活の変化 情報技術の進展と今後 情報セキュリティの重要性 情報社会における権利 情報社会における法律 情報社会の進展と情報技術 総合演習	【知識・技能】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性について具体的に説明できる。 情報技術が人や社会に果たす役割や影響について具体的に説明できる。 【思考・判断・表現】 情報と情報技術を用いて問題を発見し、解決策を考えることができる。 情報に関する法規や制度、個人の役割、情報モラルについて科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を示す。	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	コミュニケーションとコンテンツ 【知識及び技能】 コンテンツの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。 効果的なコミュニケーションを行うためのコンテンツ作成における考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択する。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	コンテンツ制作のプロセス 仮説生成と要件定義 メディアプランニング コンテンツの制作と評価・改善 Webサイトの仕組みと情報発信 Webサイトの定量的な分析 プロトタイプを作成 Webページの作成とレスポンス化 総合演習	【知識・技能】 コンテンツの特性やコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて説明できる。 情報デザインが人や社会に果たす役割について理解できる。 効果的なコミュニケーションのためのコンテンツ作成に関する考え方や方法を理解し、表現できる。 【思考・判断・表現】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、適切に選択できる。 コミュニケーションの目的を明確にし、効果的な情報デザインを考えることができる。 情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価・改善できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を示す。	○	○	○	16
	定期考査及び返却・振り返り			○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
後 期	情報とデータサイエンス 【知識及び技能】 データベースの仕組みや特徴、コンピュータでの情報の保管方法について理解する。 データベースに蓄積したデータを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの特徴とコンピュータでの情報の保管方法について考察する。 データを目的に応じた手法で適切な方法で分析し、意思決定するとともに、その過程を評価し改善する。 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	情報システムとデータ データサイエンスの狩るよう データの収集 データの整理 データベース リレーショナルデータベースの設計 リレーショナルデータベースの操作 非関係データベース データの分析	【知識・技能】 データベースの仕組みや特徴、情報の保管方法について説明できる。 データベースに蓄積したデータを活用する方法について理解し、技能を身に付ける。 社会や自然の事象をモデル化する方法とシミュレーションを通じた評価・改善方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 データベースの特徴や情報の保管方法について考察できる。 データを適切な方法で分析し、意思決定を行い、その過程を評価・改善できる。 目的に応じたモデル化やシミュレーションを行い、その結果を基に問題解決ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を示す。	○	○	○	18
	情報システムとプログラミング 【知識及び技能】 情報システム仕組みや構成要素、およびプログラミングの方法や関連技術について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報システムを分析する手法を選択するとともに、システム開発する方法について考える。 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	情報システムと社会への影響 情報システムの処理のしくみ 情報システムを支える技術 情報セキュリティの確保 システム開発の流れ システム設計の表現方法 プロジェクトマネジメント 要件定義とシステムの可視化	【知識・技能】 情報システムの仕組みや構成要素、プログラミングの方法について説明できる。 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、情報システムを分析する手法を選択し、システム開発の方法について考えることができる。 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を示す。	○	○	○	16
	定期考査及び返却・振り返り			○	○	○	2
	総合実習	総合実習 学習のまとめ	情報Ⅱの各単元において学習した知識・技能が身に付き、それらを活用して思考・表現することができるか。また、主体的に活動に取り組んでいるか。	○	○	○	14 合計 78